

令和3年3月定例教育委員会 会議録

1 日 時 令和3年3月26日（金） 開 会 午前 9時30分
閉 会 午前 11時00分

2 会 場 茅野市役所 8階大ホール

3 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢島喜久雄
教育委員 濱 勝之 教育委員 永嶋 陽子
教育委員 勅使川原 はすみ

出席者	こども部長	有賀 淳一	生涯学習部長	北沢 政英
	こども課長	五味留美子	幼児教育課長	柳澤 澄子
	学校教育課長	五味 正	生涯学習課長	藤森 隆
	文化財課長	五味 健志	スポーツ健康課長	中村 浩明
	こども係長	宮下 孝	教育総務係長	立石 淳二
	生涯学習係長	河西 茂廣	教育総務係主事	牛山 紘貴

4 傍聴者 1名

教育委員会 3 月定例会次第

日時 令和 3 年 3 月 2 6 日（金）午前 9 時 3 0 分から

場所 市役所 8 階大ホール

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

（7）スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）令和 3 年 4 月組織改正に伴う規則の改正及び新規規則の制定について

（2）茅野市教育委員会母子通園訓練事業実施要綱の一部改正について

（3）茅野市発達支援センター組織規則の一部改正について

（4）茅野市 I C T 教育推進計画の改訂について

（5）茅野市博物館協議会委員の任命及び茅野市文化財審議委員会委員の委嘱について

（6）茅野市スポーツ推進委員の委嘱について

（7）4 月 1 日付教育委員会事務局職員の人事について

（8）指定校変更の要望について（非公開）

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

- (1) 市議会 3 月定例会一般質問について
- (2) 市議会 3 月定例会議決結果について
- (3) 市長部局規則等の改正について
- (4) その他

次回定例会教育委員会日程について

	4 月 2 7 日 (火)	9 時 0 0 分「7 0 4 会議室」
(事務局会議	4 月 1 3 日 (火)	9 時 0 0 分「6 0 2 会議室」)

7 閉会

教育長

只今から3月定例教育委員会を開催します。

前回2月の会議録承認について確認をさせていただきます。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございます。

報告事項に入ります。報告事項第1号をご覧ください。

2日に部課長会、市町村教育委員会連絡協議会、臨時教育委員会を行いました。

3日に議会、全協、桜井茅野警察署長の異動挨拶がありました。

5日にアドコマーシャル様より副読本の寄贈をしていただきました。こちらは毎年いただいております、小学校3～4年生の教材としてキャリア教育の観点より使用しています。

こちらは毎年寄贈していただいております、小学校3～4年生の教材としてキャリア教育の観点から使用させていただいております。

8日に議会一般質問がありました。

9日に議会一般質問、予算決算委員会、調べ学習で文部科学大臣賞を受賞した、永明小学校の戸田君が受賞報告をしに市役所へきてくれました。調べ学習ではマイマイガについて調べてくれました。例年のことながら県レベルでの茅野市関係の受賞は大変多いという現実です。

10日、11日は資料の通りです。

12日に市関係の人事の内示が出ました。そこで臨時部課長会議と臨時園長会がありました。

15日にコロナ対策の本部会議を行いました。今後の方向についての確認でした。

17日に小学校関係の卒業式でしたが、子供たちは立派に巣立っていきました。教育委員さんありがとうございました。

19日は議会最終日でした。

22日に諏訪地域の高校の将来像を考える会がありました。諏訪地区の高校の将来を考える学びの方向性について意見書を県庁に提出してきました。諏訪地区の高校を「都市部存立型高校」、「中山間地存立型高校」、「定時制」へ大きくは三つに分けて、それぞれの高校で特色を出していこうということで特に茅野市の場合は「中山間地存立校」ということで、茅野高校を地域と共に、どのように生きていく高校にしていくのかというところを今後努力していくことになります。

「中山間地存立高」という扱いですので、茅野高校の閉校ということは当分ないと考えています。

23日は卒園式がありました。

24日は公民館運営審議会、博物館協議会等あり来年度の方向性を話し合いました。

25日に茅野高校の校長先生が異動となり、ごあいさつに見えられました。

本日26日は転退職員の送別式がありますので、関係者の方はご参加をお願いいたします。

30日は第一生命さんから図書券の寄贈をいただきます。

30万円ほどの図書券になりますが、現段階の構想としては、各学校に分配するというより教育委員会中心に文庫を作り、縄文や茅野に関する地域の本を集めていくのも一つの案として出てきています。これから内容を詰めていきたいと思います。

31日に市役所関係の退職者等の辞令交付式があります。

報告第1号については以上です。

続いて議案第2号各課から報告事項についてお願いします。

[各課から2月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

報告事項以上で終わりますが質問、ご意見ありますか。

全委員

なし。

教育長

また教育委員さんの出席もありますが、よろしくお願いします。

続いて、報告第3号の共催後援関係についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告第3号）

教育長

ありがとうございました。

議案第1号に入ります。

「令和3年4月組織改正に伴う規則の改正及び新規規則の制定について」をお願いします。

こども部長

お願いいたします。

説明の前に若干補足をさせていただきますが、これは令和3年4月からの組織改正に伴いまして、「議案」として取り上げているものは、教育委員会で告示を行う部分のものになります。

その他、条例関係、市で告示等を行うものにつきましては「その他」で、分けて説明をさせていただきます形になりますのでお願いします。

それではまず、「議案第1-1号」をお願いします。

こちらは「茅野市教育委員会事務委任、専決及び代決規則等の一部を改正する規則について」です。

本規則は市の組織改正等に伴いまして、茅野市教育委員会事務委任専決及び代決規則及び茅野市教育委員会組織規則を改正するものとなっています。

改正の本文をご覧ください。

第1条で茅野市教育委員会事務委任専決及び代決規則を、第2条で茅野市教育委員会組織規則を改正する規則です。

添付の新旧対照表、7ページをご覧ください。

こちらは、茅野市教育委員会事務委任専決及び代決規則の一部改正に係る部分です。

この中の第2条は、教育長に対する事務委任を定めている規定です。同条第1項各号に掲げる事項以外を教育長に委任する旨規定しています。このうち、第2号「教育委員会規則の制定または改廃」を「教育委員会規則その他教育委員会の定める規定の制定または改廃」と改めるものです。こちらは実態に合わせ、教育長に委任できないものとして、規則以外に告示等を含めるというための改正です。

第8条及び第10条は、それぞれこども課長及び学校教育課長の専決事項を定めている規定です。令和3年4月の組織改正に伴いまして、学童クラブの事務が、学校教育課からこども課に移管となることから条項を移管するための改正でございます。

第13条はスポーツ健康課長の専決事項を定める規定で、都市公園のうち、花蒔、前宮、弓振、岳麓の有料公園施設の使用許可の事務について、都市計画課からスポーツ健康課へ移管されることに伴い改正するものです。

以上が茅野市教育委員会事務委任専決及び代決規則の一部改正です。

続いて茅野市教育委員会組織規則の一部改正です。

新旧対照表、8ページをご覧ください。

第3条は、こども部学校教育課に学校建築係を新設するための改正及び生涯学習部生涯学習課文化芸術係を廃止するための改正です。

第4条は、各係の事務分掌を定めた規定で、今回の組織改正に合わせ、追加、移動、改正を加えています。

改正のある係は、こども部はこども課こども係、学校教育課が教育総務係、学務係、新設の学校建築係、生涯学習部は、生涯学習課生涯学習係、文化芸術係は廃止ですが、この事務は生涯学習係で担うことを規定しています。

次に 11 ページ第 5 条をご覧ください。

こちらは各部の所管する教育機関等を定めた規定で、こども部が所管するやまびこ園の根拠となる「茅野市教育委員会母子通園訓練施設事業実施要綱」の名称を「茅野市教育委員会発達支援通園事業実施要綱」に改めることに伴って、改正するものです。この件につきましてはまた議案第 2 号の方で、改めてご説明します。

以上が茅野市教育委員会組織規則の一部改正です。

改正本文にお戻りいただいて、6 ページです。

末尾に附則として、この規則は令和 3 年 4 月 1 日から施行するものです。

以上ご審議をお願いします。

教育長

本案について、質問ご意見ありますか。

全委員

なし

教育長

議案第 1-1 号についてご承認いただけるでしょうか。

教育委員

異議なし。

教育長

続いて、「茅野市 ICT サポートセンター組織規則の制定について」をお願いします。

学校教育課長

よろしく願いいたします。

議案の第「1-2 号」です。

「茅野市 ICT 教育サポートセンター組織規則について」ご説明をさせていただきます。

I C T 教育サポートセンター組織規則は、学校と家庭における児童生徒の情報リテラシーと、情報セキュリティの能力向上を図るための組織と、児童生徒 1 人 1 端末の使用に対応する支援組織として、新たに設置をする茅野市 I C T 教育サポートセンターについて定める規則となっています。

規則の内容については、茅野市教育委員会組織規則第 9 条の規定に基づき、茅野市 I C T 教育サポートセンターを設置することとし、センターは、学校教育課内、また、センターにセンター長を置き、必要に応じて職を置くこととしています。センター長は学校教育課長の職にあるものをあて、その他の職種については、組織規則第六条第 2 項の規定を準用することとしています。

またセンターにおける分掌事務を、(1) 番、教育の情報化の推進に関すること。(2) 番、教職員、児童生徒の電算利用に関わる調整に関すること。(3) 番、学校のセキュリティポリシーに関することとしています。

以上の通りにすることとしています。

本日ご審議をいただきまして令和 3 年 4 月 1 日からの施行を予定しています。

説明は以上です。

ご審議をよろしくお願いします。

教育長

8 月の総合教育会議で、報告書を示したことになりますが、内容についてご意見があったらお願いします。

全委員

意見なし

教育長

また実際に運用開始されたところで様々な課題が出てくるかと思いますが、お知恵をお借りしたいと思います。

ご承認いただけますか。

教育委員

異議なし。

教育長

それでは次に、議案第 1-3 号「縄文プロジェクト推進室の組織規則の制定について」をお願いします。

文化財課長

それでは、茅野市縄文プロジェクト推進室組織規則の制定についてお願いします。

今回の組織改正により、同推進室が文化財課へ所管替えになることに伴い、教育委員会規則として、新規に制定するものです。

内容的には現在の組織規則とほぼ変わりがないですが、主な内容、主な変更点としては、第2条第1項、室は文化財課内に置く、同条第3項、室長は文化財課長の職にあるものを充てるものとするとしています。

第3条の分掌事務については現在のものと変わらず、4点となります。内容の説明としては以上になります。

よろしくお願いします。

教育長

ご質問等ありますか。

全委員

質問なし

教育長

本案についてご承認いただけますか。

全委員

異議なし。

勅使川原委員

先ほどのICTのサポートセンターの件や本件を含め「この条例の規則に定めるもののほか、何か必要事項のものは教育委員会が別に定める」という文言が最後の方に記載があるので、今後必要となり定める、もしくは修正した規則や事項については教育委員会に詳細な内容とともに連絡いただきたく思います。

教育長

よろしいでしょうか。

それでは議案第2号「茅野市教育委員会母子通園訓練事業実施要綱」についてお願いします。

こども部長

議案第2号については、名称変更ということで、母子通園訓練事業を、発達支援通園事業に改めるものです。

こちらは、通園対象が今まで母子という言い方をしていましたが、父親や祖父母の方が一緒に通園される場合もあることから、母子通園から発達支援通園ということに改める改正です。

第1条に保護者に対するというところがありますが、保護者の定義についてその部分を含め、幅広く、関わるということで改正をさせていただいています。

第2条の訓練の場所という部分を、事業の実施場所に改めておりますが、訓練という文言にはやまびこ園は訓練をする場所だけの意味合いではなく、心身の発達を促すという意味合い、目的がありますので訓練という表現を改める改正となります。

3条につきましては「訓練及び相談」という言い回しの事業を「支援」に改める内容でございます。

第4条につきましては、施設の名称変更に伴う改正となっております。

第8条、「通園の方法等について」ということで、今までやまびこに通園していただいている方に、通信費補助金を支出、補助させていただいていましたが、やまびこ園については、今までも通われている方に対して利用料の徴収はしていませんでした。

そして、令和元年10月から、幼児教育の無償化と、令和2年3月31日付けで、保育所に対する通園費補助も廃止をしたことに伴い、保育園の通園補助と考え方を合わせさせていただくという中で、通園に係る補助金を廃止させていただいた改正となります。

9条につきましては、名称変更に伴うものとなります。

こちらの議案は、令和3年4月1日からの施行ということで、ご審議をお願いしたいと思います。

教育長

それでは質問ご意見あればお願いします。

全委員

なし。

教育長

議案第2号についてご承認いただけますか。

全委員

異議なし。

こども部長

補足説明をさせていただきますが、この議案第2号改正の様式が先ほど説明、付則した様式と少し違ってしています。

規則の改正は、通常の改正文改め文方式になっておりますが、本年度途中から、市の例規担当によって、条例規則以外の要綱等については、可能なものについては、新旧対照表方式による改め文にする形になりました。

しかし、今回の様式は改正文と新旧対照表が一緒になったような形の改正文になっていますが、今後、条例には手が回らない可能性はあるが、要綱と場合によっては規則まで広がる可能性があるため、このような形の新旧対照表方式がわかりやすいと判断し、改めて新旧対照表をつけることはせず、この形の改正文に今後なっていきますので、補足をさせていただきます。

教育長

ありがとうございました。

議案第3号「茅野市発達支援性センター組織規制の一部を改正する規則」に進みたいと思います。

こども課長をお願いします。

こども課長

「茅野市発達支援センター組織規則の一部を改正する規則」ですが、こちらは先ほどご説明した名称変更に伴う改正となります。

3条につきましては、分掌事務ということで示させていただいておりますのでお願いします。こちらについても、令和3年4月1日から施行ということでご審議をお願いします。

教育長

ありがとうございました。ご承認いただけますか。

全委員

異議なし

教育長

ありがとうございました。

それでは、議案第4号「茅野市ICT教育推進計画の改正について」をお願いします。

学校教育課長

よろしく願いいたします。

議案の第4号になります。

こちらに関しましては、事前に改正の概要、また新旧の計画についてお手元に送らせていただきましたので、詳しい内容の説明は省略をさせていただきますが、茅野市が目指す教育の情報化を明確に定めて、子供たちの生きる力を育むために、平成30年の3月に策定をしています。

また、計画年度が3年間ということで、平成30年度から令和2年度、今年度までという計画年度だったのですが、国のGIGAスクール構想によりまして、1人1台端末の整備が終わるため、ここで改正するのではなく、1人1台端末をしっかりと使ってそれを検証する中で、第二次につなげていきたいということで、計画年度を2年延長しまして、計画年間を5年間、令和4年度までとする内容と、基本方針の修正を一部改正また新規を加えさせていただいたものになりますのでよろしくお願いします。

ご審議お願いをいたします。

教育長

それでは、質問等あったらお願いします。

勅使川原委員

2年先まで計画を延ばし、その検証結果を第二次につなげていく、ということは良いことだと思いますが、中身を見たときに、今度のICTの活用に関することは、子供たちだけでなく教職員、教える側の研修を大切にするということで資料の32ページで、センターの中で、課長に関する組織と研修体制の充実を図っていくこともうたわれています。

しかし、市だけでなく、県としての研修体制などがどのようになっているのかをお聞かせ願いたいです。

学校教育課長

報道等では、県につきましてもICT教育の組織、ルールを作るということで報道がされています。

そちらと情報を密にとり、県で取り組んでいただけることも活用しながら、研修体制の充実等を図っていきたいと考えています。

教育長

県の研修の案は今後出てくると思います。

総合教育センター或いは教育事務所主催で、今のところまだ予定が出てきていません。

市でやるほど体系的にはならないとは思いますが、出前講座等もあるので、県のものをできるだけ利用していきます。

県のICTサポート教育支援センターのような私たちと同じような構想のものが昨日3月27日に県でスタートしました。

ただ、スタートしたというだけで中身がどのようなになっているのかは、まだ私たちも把握できてないという状態です。

いずれにしても県と上手く、連携し、力をつけて参りたいと思います。

勅使川原委員

教員の県内移動は多いので、県の方にもしっかりと周知していただきたいと思います。

教育長

承知いたしました。

その他ありますか。

全委員

なし。

教育長

ちょうど3日ほど前に、文科省から、ICT教育推進に関して二つの通知が出ました。

やはり健康問題、セキュリティの問題や利用法等の問題について、文科省でも今後の動向をしっかりと注視し、最新の知見のもとで行うという方向が出ています。

そうした中で、現時点では最高の計画を作ったと思いますが、2年間という中で、再改定等が今後出てくる可能性がありますので、よろしくお願いします。

教育長

それではお認めいただいたということで、実際に4月から、様々な事業の様子を見に来てください。

それでは次進みたいと思います。

議案第5号「茅野市博物館協議会委員の任命及び茅野市文化財審議委員会委員の委嘱について」をお願いします。

文化財課長

議案第5号については、現在の委員の任期が3月末までとなりますので改選をお願いするものです。

資料をご覧ください。

博物館協議会委員ですが、名簿の通り再任新任合わせて13名お願いしたいと考えています。

新任としては6名です。

東京理科大学・公立諏訪東京理科大学名誉教授の河村洋さん。

茅野市芸術文化協会所属の田中正行さん。

尖石縄文考古館土器サークル所属の五十嵐みどりさん。

八ヶ岳総合博物館はたおりボランティア「ねじばな」所属の村松秀子さん。

地学専門で元泉野小学校校長の田中克明さん。

植物専門で元中州小学校校長の白鳥保美さんです。

校長会については決まり次第、次回教育委員会で提案をさせていただきます。

次に裏面、文化財審議委員になりますが、名簿の通り再任、新任合わせて7名になります。

新任としましては、植物・自然保護専門の白鳥保美さん。

建築の専門の村松健敏さんです。

白鳥保美さんについては両委員をお願いすることになります。

任期はいずれも令和3年4月1日から令和5年3月31日の2年間になります。

ご審議のほどよろしくお願いします。

教育長

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

それではご承認していただけますか。

全委員

異議なし。

教育長

よろしくお願いします。

続いて議案第6号「茅野市スポーツ推進委員の委嘱について」、お願いします。

スポーツ健康課長

よろしくお願いいたします。

資料をご確認ください。茅野市のスポーツ推進委員になります。

この3月をもちまして改正となります。

定員につきましては資料にもありますように 12 名になります。12 名とも再任という形に
お願いしたいと思っております。

よろしくお願いします。

教育長

ありがとうございました。ご承認いただけますか。

全委員

異議なし

教育長

ありがとうございます。

それでは続いて、議案第 7 号「4 月 1 日付教育委員会事務局職員の人事について」、お願
いします。

こども部長

議案第 7 号についてですが、教育委員会事務局職員の人事についてとなります。

議案としては 7-1 号になります。

7-2 以降は参考資料ということでご確認ください。

教育支援指導主事になりますが、再任が 3 名、新任が 3 名の計 6 名です。

1 人目の主任としては、令和元年度まで勤務をしていただいた山岡祐司先生です。

本年度につきましては学校の現場の方にお戻りになられていましたが、3 年度から英語
教育が担当です。

平田先生と帯川先生、野澤先生につきましては再任です。

あと 5 番・6 番藤木先生・畑中先生は、新任となっておりますが、今まで教育指導主事
ということでご勤務いただきましたが、3 年度から教育支援指導主事ということで、新任
という形になります。

議案 7-1 号については以上です。

続いて議案 7-2 号についてご説明します。

こちらは市の人事異動に伴う事務局職員の異動です。

異動等たくさんございますので課長係長級のみご説明を申し上げます。

順番が前後しますがご了承ください。

まず、こども部の関係で、1 ページ目中段より下、五味正学校教育課長ですが、I C T
教育サポートセンター長の兼務ということで発令になります。

それから、その下、北澤賢一幼児教育課課長補佐が、税務課課長補佐兼市民税係長へ異
動です。

次に 2 ページをご覧ください。

2 ページ中段の少し下、飯島正彦保育総務係長が都市計画課建築係建築担当へ異動です。

その下、長田香織こども家庭相談係長ですが、課長補佐への昇任ということで係長は兼務のままです。

その下、笹岡俊江高齢者保健課の課長補佐ですが、幼児教育の幼児教育係長兼課長補佐ということで異動です。

その下、立石淳二学校教育課課長補佐でございますが、新しく新設になる学校教育課学校建築係長兼課長補佐へ異動になります。

続いて 3 ページをご覧ください。

上から 11 行目、熊谷壽美子こども課こども・家庭支援係長ですが、企画課の企画係統計調査担当へ異動です。

4 ページをご覧ください。

上から 7 行目、本山昭栄教育総務係校務・建設担当ですが、都市計画課建築係建築担当で異動です。

その下 7 行目、両角和恵広報戦略係長が、こども家庭支援係長へ異動。

その下の白鳥晴美健康づくり推進課健康推進係母子保健担当が、こども・家庭相談係こども家庭相談担当としての異動になります。

その下、正木美香幼児教育課保育総務係園管理総務担当ですが、幼児教育課の保育総務係長に異動です。

また春日雅彦係長選挙管理委員会事務局選挙係長が、学校教育課教育総務係長として異動です。

なお、当面の間、選挙係の担当として兼務となります。

その他、その下ですが、玉川小学校の浜栄養担当が、学校教育課教育総務係栄養指導担当としての異動となります。

係長としては以上ですが、続いて保育園の関係、8 ページをご覧ください。

保育園関係の園長のみご説明します。

一番上、竹内きよみ玉川園長ですが、幼児結果幼児教育保育指導担当に異動でございます。

竹村清子宮川園長が、ちの保育園長へ、小池のり子ちの保育園長が玉川保育園長へ異動です。

一行空いて湯田坂眞保やまびこ園長ですが、やまびこ園長と発達支援センター次長として兼務です。

湖東保育園兼笹原保育園であった前島敦子園長は宮川保育園へ異動です。

豊平保育園の両角勢津子園長補佐が湖東保育園長へ昇任です。

北山保育園の堀内達矢主任保育士が北山保育園長へ昇任です。

小池千恵子中央保育園園長補佐が、小泉保育園園長へ昇任です。

米沢保育園の勝野剛史保育士が中大塩保育園長に昇任です。

主任保育士以下は、各自ご確認ください。

続いて 11 ページをご覧ください。

再任用職員です。

再任用職員の中段、鈴木いずみさんですが、幼児教育係保育相談担当としてご着任です。

また、牛山真弓元中大塩園長ですが、泉野保育園長として再任用です。

牛山まきみみどりヶ丘保育園長が、同じくみどりヶ丘保育園長として再任用です。

その他、保育士等につきましては各自ご確認ください。

続いて 12 ページ、退職者名簿です。

退職者ですが、この中で見ていただくと 8 行目牛山真弓園長がご退職です。

また、一行空いて下 3 行目再任用の竹内和子発達支援センター次長がご退職です。

同じく折井あけみ保育指導担当、守屋静香北山保育園長、鋤柄由美子泉野保育園長、柳平絹子小泉保育園長が、ご退職です。

続きまして、議案第 7－4、1 項につきましては、詳細以下部内異動の関係になりますのでご確認ください。

こども部につきましては以上です。

生涯学習部長

それでは続きまして生涯学習部に係る人事です。

1 ページにお戻りください。

上から 7 行目、藤森隆生涯学習課長ですが、この度議会事務局長ということで、部長級への昇任です。

それから真ん中より下、牛山明広現スポーツ健康係長ですが、この度産業経済部の観光課長ということで課長級へ昇任です。

その 2 行下になります田中ひろみパートナーシップのまちづくり推進課長が生涯学習課長へ異動です。

その 3 行下の、五味健志現文化財課長ですが、先ほども説明ありましたとおり縄文プロジェクトの推進室が移管されましたのでそちらの室長を兼務となります。

その下、伊藤善彦管理課長が、この度スポーツ健康課長に異動です。

2 ページをお開きください。下から、9 行目、小池岳史文化財係長ですが、この度課長補佐への昇任とあわせて、縄文プロジェクト推進室の次長兼務です。

それから 3 ページに移りますが、中ほどの田中美和現生涯学習課生涯学習係男女共同参画担当兼国際交流推進担当ですが、この度パートナーシップのまちづくり推進課の市民活動推進係長に異動です。

それから下から7行目、永澤美代子現家庭教育センター館長兼現新型コロナウイルスワクチン対策室次長ということで兼務していますが、今回、生涯学習関係が外れ、新型コロナウイルスの対策室次長になりました。

それから4ページ、真ん中より少し下、伊藤利恵現生涯学習課文化芸術係長ですが、この度の係統合により、生涯学習係の文化芸術担当になります。

今井祐子現収納管理係長ですが、この度、家庭教育センター館長となります。

それから、山科哲現尖石縄文考古館考古館係長ですが、機構改革によりまして、縄文プロジェクト推進室次長と兼務となります。

それから、武居直樹美サイクルセンター業務係長ですが、この度、文化財課考古館係総務担当と、縄文プロジェクト推進室次長を兼務ということで異動になります。

その下、内山誠治現ちの地区コミュニティセンター所長ですが、この度スポーツ健康課のスポーツ健康係長へ異動になります。

それから少し飛びまして、11ページ中央に平出、両角両名の名前が載っておりますが、この後追加の内容も含めて説明いたします。

12ページ、退職者ですが、上から6行目中村スポーツ健康課長さんが42年の長きにわたってご勤務いただきましてこの度勇退です。

また、そこから4行下になります両角清さんは、八ヶ岳総合博物館の博物館係主査でしたが、40年の長きにわたるご勤務で、ここでご勇退となります。

それから、下から5行目の五味仁さん、守屋昌文さんは正規の職員は退職ということになりますが、再任用ということで引き続き会計年度任用職員としてお勤めいただきます。

それから、議案第7-3号お願いします。

下から4行目、両角勝元さんは現在、八ヶ岳総合博物館の守矢史料館担当になっていますが、この度、生涯学習部中央公民館館長と守矢史料館担当の兼務ということで、追加異動が出ましたのでお願いします。

その次のページ、平出信次現公民館館長ですが、この度一身上の都合により退職ということになりました。

そのあとのページにつきましてはこども部同様量が多いので、各自ご覧をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

教育長

質問等ありましたらお願いします。

全委員

質問なし

教育長

それではご承認いただけるということで、次に進みたいと思いますが、議案第8号の関係は、個人情報に関わる事項が含まれております。審議は非公開としたいと思いますがよろしいでしょうか。

全委員

異議なし

教育長

ありがとうございます。議案第8号「指定校変更の要望について（非公開）」をお願いします。

非 公 開

教育長

次に検討事項今回ありませんのでその他に入ります。

最初にその他1「3月定例会の一般質問について」こども部長生涯学習部長をお願いします。

こども部長

お願いします。7人の方から9件、ご質問をいただいています。

それぞれ順番に従ってこども部と生涯学習部でご説明しますのでお願いします。

まず1つ目矢島正恒議員さんから、小中学校におけるICT教育の推進についてというご質問をいただきました。

項目として3点です。

1つ目が小中学校におけるICT教育現状について、2つ目が1人1台タブレット端末通信ネットワーク環境整備の整備状況と今後の活用について、3点目がICT化に伴う教職員等の支援体制についてです。

1点目についてですが、茅野市では、平成30年3月に、「茅野市ICT教育推進計画」を策定し、推進してきました。

この中で児童生徒の発達の段階に応じて身に付けて欲しい具体的な資質・能力を「茅野市ICT教育アクションプラン」にまとめて実践しています。

授業では、平成30年度から小学5、6年生を対象として、教材用のプログラミング環境「スクラッチ」を活用し、プログラミング学習を行ってきました。

また、多くの授業で大型テレビや、教材提示システム、パソコン等を組み合わせ、有効活用しています。特別支援教育については、諏訪養護学校の先生に指導していただいている学校もあります。

と回答させていただきました。

2点目ですが、ICT機器や通信ネットワーク環境の整備は、平成30年度に普通教室、令和元年度に特別教室に無線LANを配置し、児童生徒3人に1台分のタブレット端末を導入してきました。

今年度、国のGIGAスクール構想の前倒しや見直しにより、児童生徒1人1台のタブレット端末の導入と、校内通信ネットワーク環境の高速化を図り、年度内の完了を予定しています。

また、現在「茅野市ICT教育推進計画」の改訂を行っています。

これからのICT教育の課題は、児童生徒のためにICTを用いた授業をどのように行うか、という点です。今後も改訂後の計画を基に、更なる授業改善とICTの活用を進めて行くと回答させていただきました。

最後3点目ですが、教職員はICT機器の仕様や管理について習熟することのほか、機器を活用した新しい授業形態の導入等により、更なる授業改善やスキルアップが求められることとなり、研修等の充実が重要となっています。

茅野市では、平成30年度からICT支援員を配置してきましたが、令和3年度から学校教育課内に「茅野市ICT教育サポートセンター」を設置し、教職員、児童生徒、保護者のサポートにあたるほか、中心となる指導者の招聘、各校での取り組みの評価、研究及び情報発信や研修体制の再構築を行います。と回答させていただきました。

続いて小尾一郎議員から、タブレット・スマホがもたらす学習への効果と心身への影響についてということで3点のご質問をいただいています。1点目としてタブレット・スマホがもたらす学習への効果について。2点目としてタブレット・スマホがもたらす心身への影響について。3点目がタブレット・スマホ活用上の現時点での課題とその対策についてです。

1番目については、整備の状況は前出のとおりであり、文部科学省では、児童生徒自身がタブレット端末を「文房具」として、自由な発想で活用できるようになることを目指しています。なお、子どもたちが自然や事物と触れ合う体験的な学習についても、縄文市民科をはじめ、これまでと同様に重視していきます。

「多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを継続的に実現していく」という「GIGAスクール構想」の考えに立ち、今後は授業だけでなく、病気や不登校、障害のある児童生徒が学習をすることのできるツールとして活用していくことで、教育環境の在り方についても研究をしていきたいと考え、今回のコロナ禍の中でこうした実証的な試みも行いました。と回答させて頂きました。

2点目ですが、文科省の調査では、健康面への影響として、「ドライアイ」「視力の低下」「姿勢の悪化」を懸念する回答が半数を超え、「睡眠の質の低下」「認知機能の低下」といった回答も見られます。

タブレット端末は、国の安全基準のもとに選定されていますが、国の学校・教職員のアンケートには、心配をする声もあることから、国の有識者会議の情報、また最新の科学的知見にも注視しながら、必要に応じて新たな知見を踏まえた対策を講じていくことも必要であると考えます。回答させていただきました。

3点目ですが、健康面に関しては、文科省の「児童生徒の健康に注意してICTを活用するためのガイドブック」を参考に、指導を行っていきます。

また、各校の養護教諭には、児童生徒の機器使用による健康面に気を配ることや、学校保健だより等による家庭への情報提供を依頼しています。

「茅野市ICT教育推進会議家庭情報モラルアップ部会」のアンケート調査では、家庭におけるICT機器の使用時間が長くなることで、健康面にも影響が出ていると感じている児童生徒が多いことから、今後も啓発活動を継続し、保護者と児童生徒がICT機器の利用時間や具体的な利用状況について、話題を持てる機会を作っていくことが大切だと考えています。

そのほか、ICTの環境整備に関する課題としては、学習履歴「スタディ・ログ」や学校健康診断等の教育データを蓄積・分析・利活用できる環境の整備、ICTの実際の利用法と教員の指導力の問題が挙げられます。

今後第2次のICT教育推進計画を策定していく中で、考えていきます。

オンライン化による学習が目的化されることなく、一人一人の能力や可能性を認識し、協働的な学びにより、従来の日本型教育の良さを生かしながら、生きる力を育むことを今後の方向としています。と回答させていただきました。

生涯学習部長

続きまして両角実晃議員さんから、茅野市運動公園国際スケートセンター、(NAO ice OVAL)の施設の充実と利用者増加に向けての取り組みについてご質問いただいています。小項目とすれば、3点ございますが1点目は、(NAO ice OVAL)の利用者減少の課題について、2点目が、利用者増加に向けての取り組みについて、3点目が、(NAO ice OVAL)の施設の老朽化を改善する取り組みについてです。

回答としましては、茅野市運動公園国際スケートセンターは平成元年12月1日供用開始、令和2年度32年目のシーズンを迎え累計入場者数210万人を超えています。

平成 30 年 2 月 18 日茅野市出身小平奈緒選手が平昌オリンピック女子スピードスケート 500m で金メダル 1000m で銀メダルを獲得した功績を称え、幼少期に練習したスケートセンターの愛称に「NAO ice OVAL」と命名し、国際スケートセンターを「愛する」、「小平選手に続いて次世代アスリートがこのスケートセンターから育ってほしい」との思いが込められています。

それでは 1 点目の課題についてですが、国際スケートセンター供用開始の平成元年度入場者数は 10 万 1,550 人、平成 4 年度は 14 万 2,321 人で最高入場者数を記録後、平成 11 年度は 8 万 511 人、平成 21 年度は 5 万 3,625 人、令和元年度は 3 万 5,762 人まで減少しています。入場者内訳として、令和元年度は、一般入場者 2 万 1,047 人、市内学校授業で 6,934 人、市外学校授業で 2,895 人、大会教室等で 4,886 人の合計 3 万 5,762 人。平成 26 年度は、一般入場者 2 万 4,100 人、市内学校授業で 5,759 人、市外学校授業で 3,543 人、大会教室等で 5,047 人合計 3 万 8,449 人。直近 5 年間比較は、市内学校授業は約 1,200 人増、大会教室等利用者の大きな変動はありませんが、一般入場者約 3 千人減の約 13% 減少。利用者減の大きな要因は一般入場者の減少で、今後一般入場者をいかに取り込めるかが課題となっています。

2 点目の、利用者増についての取り組みですが、入場者数は減少傾向で、児童・生徒の減少、市民のレジャー・スポーツ多様化によるスケート競技人口減少が理由と考えます。

スケートに接する機会を増やすため、無料開放日設定やスケート教室を開催、NAO ice OVAL の命名後に毎月 18 日をゴールドメダルデーとし、未就学児の貸靴のレンタル料を無料にする取組を実施しましたが、利用者数の回復には至っていません。

スピードスケートの競技人口の増加に力を注ぐほか初心者や未経験者にスケートに関心を持たせ、継続して NAO ice OVAL に足を運んでもらえる取組や、スケート協会並びに NAO ice OVAL の指定管理者株式会社パティネレジャーとの協力が必要不可欠と考えます。と回答させていただきました。

3 点目の施設の改善につきましては、NAO ice OVAL の施設・設備課題は、リンク路盤の不陸整正、アイスパネルの交換、冷却水の地下配管改修、冷凍機の更新、ルール改正に対応した防護マットの設置等で、財政上の理由等で大規模改修は実施されていません。

施設改修費用の財源を得るため、国民スポーツ大会競技会場の開催補助金を視野に令和 10 年長野県開催予定の国民スポーツ大会開催会場希望を提出してきましたが、長野市エムウェーブが開催競技場に内定し、大きな財源獲得の可能性が失われました。

今後も NAO ice OVAL を維持するには計画的な施設改修が必要となります。

NAO ice OVAL を含めて運動公園内の施設は老朽化が進み、運動公園全体で 10 億円を超える改修費用が見込まれ、市財政状況は、厳しく財源が不足するので事業の選択と集中が必要となります。

市は平成 29 年 2 月「茅野市公共施設等総合管理計画」を策定し、個別施設計画である「茅野市公共施設再編計画」が令和 3 年 2 月策定されました。

この計画に基づき運動公園内体育施設の改修計画を茅野市スポーツ協会と協議を進め、計画的な施設改修と公共施設の最適化に取り組みたいと考えます。と回答させていただきました。

こども部長

続きまして同じく両角実晃議員から、学校の働き方改革を踏まえた部活動の地域移行への考えを受けて市としての対応についてということでご質問をいただきました。

項目としては市としての今後の対応についてです。

休日の部活動を学校主体から地域主体に移行することについては、教職員の長時間勤務の要因の 1 つであることや、指導経験のない教師にとって多大な負担となっていることを踏まえ、国・県から地域への移行が言われ始めています。

部活動については、何よりも、子どもたちにとって効果的なスポーツ活動や、技術的、精神的な豊かさを保障することが必要であります。現在の体制のままでは、必ずしもその種目の専門の教員がいないこともあり、難しい状況であります。

また、教職員の働き方改革を推進するためには、地域への移行が必要であると受け止めています。

しかしながら、現在の茅野市においては、国が示すような地域部活動の運営主体となり得る団体や人材等を十分に確保できる状況にはないため、実現させることは容易ではありません。

国の示すスケジュールに沿った体制づくりを推進していくにあたっては、学校や中体連の現状やニーズと離れていくことも懸念され、活動の主体となる生徒や保護者、教職員、地域などからの理解を得ることが重要であります。

教員の異動により、ニーズも変わっていくことから、今後の国の考え方や動向を見極めていくことも必要であり、茅野市では、「学校の働き方改革」を「子どものための働き方改革」と捉え、先生が子どもと向き合う時間を大切に考えて取り組んでいます。

今後、生涯学習部と連携し、スポーツ協会やスポーツ推進委員、文化芸術団等による協力体制の構築について検討する機会を持ち、課題を共有しながら、地域スポーツや地域の文化活動の振興と併せて研究していきたいと考えます。と回答させていただきました。

続いて、伊藤正陽議員から茅野市への定住者をふやすための取り組みについてということで、5 項目をいただいています。

1 点目が茅野市を選ぶ若者のその理由について、2 点目が若者がいなくなると生活サービスの縮小し生活が不便になることについて、3 点目が茅野市の交流人口をふやす取り組みについて、4 点目が、若者が行政に求める施策は何か、5 点目が行政は市民に何をすべきかということですが、4 点目・5 点目について主に保育園を中心に聞きたいということでしたので、4 点目 5 点目を教育委員会の方で回答をさせていただきます。

4、5 一緒に回答させていただきますが、第 2 次茅野市地域創生総合戦略策定の際の 20 歳、30 歳代に対するアンケート結果においては、結婚の障害となること、理想の子ども数を持たない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最大の理由です。

このことから、地域創生総合戦略の基本目標の一つである「安心して出産・子育てができるまちをつくる」の施策パッケージの中の一つとして、「子育て世帯への経済的支援」を掲げ、子育て世帯へ各種の経済的支援を行うことで経済的負担を軽減し、誰もが子育てに希望が持てる環境をつくることを目指しています。

ただし、このアンケートは、令和元年 7 月に実施されたものです。

この後、令和元年 10 月から幼児教育・保育の無償化で、3 から 5 歳児の保育料の無償化、及び 3 歳未満児の市民税非課税世帯の保育料を無償化する負担軽減措置を講じました。

この他に、国では平成 29 年度までに第 3 子以降の保育料無償化の範囲を拡大してきたが、市では、その軽減措置に上乗せして、多子世帯の保育料軽減事業を実施してきました。

この幼児教育・保育の無償化を受け、また企業による育児休業を取りやすくする取組が重なり、育児休業明けの保育を必要とする 0 から 2 歳児が増加している状況であります。

また、市では、待機児童を出さないことを重点に進めており、乳幼児期の保育においては、1 歳児は国の保育士の配置基準に比べて、市独自の手厚い保育士の配置で、質の高い保育を展開しています。

従前からのこのような取組が、地域創生総合戦略の先程の基本目標中の施策パッケージ「安心して子育てができる環境の整備」となっています。

結果として、茅野市の転出者向けアンケート結果のうち、「茅野市が住みにくかった理由」では、「子どもを産み育てる環境が整っていない」が 0.7%と低い理由につながっています。

最後に、「若者に選ばれるまち」の実現をテーマとする茅野市にとっては、若い世代で求められている子育て環境の更なる充実を図ることが必要です。

今後も、子育て世帯への経済的支援を含め、各種の施策を展開することで、茅野市への定住者を増やしていきたいと考えます。と回答させていただきました。

続きまして竹内巧議員から公共施設のランニングコストを削減策についてということで、3 点の項目でいただいています。

1 点目が茅野市が有する公共施設に係るランニングコストの現状と課題について、2 点目が永明小中学校建て替えにおいて検討されているランニングコスト削減策について、3 点目が、エネルギー効率を高める仕組み、工事による、茅野駅周辺の公共施設等を対象としたトータルランニングコストの削減についてです。

2点目の内容が教育委員会に関連する部分です。

ランニングコスト削減策の基本的な考え方は、基本計画において設計の基本方針として掲げた「環境を活かした学校」に基づいています。

基本設計段階においては、自然エネルギーの活用や省エネルギー・高効率機器等の採用により、環境負荷低減及びランニングコストの削減につながる方策を積極的に取り組む計画としています。

具体策として、屋根や壁の高断熱化、断熱性にも優れた建具やガラスの採用、夏季及び中間季の西北西からの風を活かした自然換気の促進、ライトシェルフによる室内への直射光の侵入を防ぎ熱負荷の軽減、照明のLED化、人感センサー等の照明制御システムの採用、キュービクルに高効率変圧器及び自動電力率制御を採用、高効率型エアコンの採用、節水型の衛生機器の採用等を計画しています。

削減対策のためのインシヤルコストの算定や費用対効果のシミュレーションについては、実施設計段階において、実施していく項目となります。

なお、実施設計を行う前提で、修繕や更新に費用がかかるものや利用者の使い勝手がよくないものの採用は控えるようにしていきたいと考えます。と回答させていただきました。

続いて吉田基之議員から、「コロナ禍での教育現場のデジタル化への対応と子供への影響について」ということで、6項目いただいています。

1点目が、学校教育現場デジタル化への対応状況について。2点目が、先生や親へのデジタル化の支援について、3点目が中学校のスマホ持ち込みについて、4点目が先生のマスク着用による子供への影響について、5点目が、昨年の休校による学習の遅れへの対応について、6点目が生活困窮世帯への子供の学習支援についてでございます。

1点目が、茅野市では、平成30年3月に「茅野市ICT教育推進計画」を策定し、ハード、ソフトの両面で充実を図って参りました。

今年度、国のGIGAスクール構想の前倒しや見直しがあり、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学び」の実現を目指して、校内LANの高速化、1人1台端末の整備、貸出用Wi-Fiルーターの整備、遠隔授業用機材の整備、GIGAスクールサポーターの配置を実施し、年度内の完了を予定しています。

2点目ですが、各校では1人1台の環境を利用して、どのような授業ができるか、さまざまな研究や取り組みを行っています。

基本的には、学校で利用することを前提としているが、休業時の持ち帰り利用を想定して、各家庭の協力のもと、「Zoom」の使い方の練習も行いました。またインターネット環境のない家庭には、Wi-Fiルーターの貸し出しができるよう、準備を進めています。

今後は学校現場のみならず、家庭からの問い合わせの増加も予想されることから、令和3年度から学校教育課内に「茅野市ICT教育サポートセンター」を設置し、教職員、児童生徒、保護者のサポートにあたります。また、例年行っていた研修を体系化し、教職員が現場にフィードバックしやすい体制づくりを進めていきたいと考えます。

3点目ですが、令和2年の文科省通知では、「携帯電話は、中学校においては、学校への生徒の持ち込みは原則禁止とするべきであるが、個別の状況に応じて一定の条件のもとで、例外的に持ち込みを認めることも考えられる」としています。

各学校においても、持ち込みは原則禁止としていますが、やむを得ない事情により、持ち込みを必要とする場合に限り、学校と生徒・保護者が協議をしたうえで許可をしていることもあります。

4点目ですが、マスクの着用は、先生や保育士の顔の半分が隠れて、目しか見えないため、表情が読み取りにくく、身近ないろいろな人の顔やその動きを見て、感情や表現を学んでいく時期の子ども達にとっては、発達に影響があるのではないかと懸念しています。

特に乳幼児にとっての影響は心配なところとなっております。

しかし、現時点ではマスクの着用をするしかない状況であると考え、今後の状況変化に柔軟に対応していきたいと考えます。今まで以上に「ていねいな保育」、「温かな眼差しの保育」、「愛着支援の保育」を心がけるようにしていきます。

小中学校においても「新型コロナウイルス感染症対策に係る県立学校運営ガイドライン」に従い、児童生徒の心に寄り添い、感染症予防の適切な対応を心がけていく予定です。

5点目ですが、現時点において、教育課程はほぼ予定通りに進めていくことができます。

また、単にカリキュラムをこなすのではなく、協働的な学びの中で、学習を定着していくことが大切だと考えています。

今後も、各校における授業の工夫・改善を継続するとともに、学校の臨時休業等の緊急時においても、ICT等を始めとした、様々な学びの形態により、全ての子どもたちの学びを保障できる環境を実現できるよう、整備を進めていきます。

6点目ですが、就学援助として、学用品費、給食費等の支援をしている。また、今後タブレットの家庭での使用がスタートした場合は、インターネット通信料の補助を行う予定です。

今年度新型コロナウイルス感染症による影響により、急激な家計の変化があった家庭については、申出により就学援助について個別に対応をしています。

日常的な学習支援については、市内4中学校と1小学校にサポートルームを設置し、教室での学習が困難な児童生徒の居場所を作り、ニーズに応じた相談や学習の支援を行っています。

サポートルームは、不登校傾向、不適應の子どもへの支援を中心として行い、結果として生活困窮世帯への支援にもつながる仕組みを持ってスタートし、困り感を持つ児童生徒の居場所として定着をしてきました。

今後も、育ちあいの等と連携する中で、児童生徒に寄り添った支援を続けていきたいと考えます。と回答させていただきました。

続いて木村かほり議員から、「コロナ禍での子供支援、不登校支援について」質問をいただいています。

4点の項目でいただいています。1点目が、2020年の子供や家庭の相談と支援の現状について、2点目が不登校支援の体制について、3点目は民間との連携の方法について、4点目が地域の子供の居場所についてです。

1点目ですが、育ちあいちので受けた新規相談件数は、12月末時点では、令和元年度は457件に対し、令和2年度は474件となっています。

相談種別では、養育環境に関する相談と子どもの性格行動に関する相談は増加、不登校に関する相談は減少しています。

ゲーム依存傾向や生活リズムの乱れ、コロナ罹患への不安等の相談が多数寄せられた一方で、休校によって自分のペースで登校改善が見られたことなどから、相談種別による相談件数の変化はコロナウイルス感染症の影響を受けていることが考えられます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、子どもの見守り機会が減少し、虐待リスクが高まっていることを受け、育ちあいちの和学校、保育園等が連携し「子どもの見守り強化アクションプラン」を実施し、支援が必要な子どもや家庭を把握し対応してきました。

また、学校再開後の6月は、スクールソーシャルワーカーが各学校を定期的に訪問し児童生徒の状況把握を行い、学校との情報共有と連携に努めました。

育ちあいちのでは、相談を受ける中で、児童相談所とも連携しながら必要な支援に繋げるための対応も行っています。

コロナ感染症の有無にかかわらず、定期的な面談による状況確認を行うため、家庭の都合に合わせて対応することが増えているが、常に状況が悪化しないよう丁寧な対応に努めています。

2点目ですが、不登校の児童生徒への支援は、育ちあいちのを中心に行っています。

スクールカウンセラーを4名、スクールソーシャルワーカーを3名配置し、全体的な検討事項については県の不登校専門員との連携を図っています。

各学校の状況については、実態について報告を受け、指導主事が分析や助言を行っているほか、各学校の代表者や市教委による「不登校等対応検討会」を開催し、情報の共有を図っています。

児童生徒に対しては、スクールカウンセラーが学校を巡回訪問して相談にあたるほか、保護者からの相談にも市と連携を取り対応しています。

臨時休業から、段階的に分散登校を実施し、学校を再開してくる中で、不登校傾向が改善し、登校ができるようになった例もいくつかありました。

現在は、継続できている例もあれば、難しくなってきた例もあります。

すべての子どもに「自分の居場所」がある学校づくりを進めていくことが重要と考え、フレンドリールーム、適応指導教室、サポートルームでは、一人一人のペースに合わせた学習指導や相談など、児童生徒に寄り添った学びの場と支援を行っています。

文科省から、不登校対応は、教室に復帰することを目的とするのではなく、将来社会的に自立する力をつけていくために多様な学びの場をつくり、進めていくことが必要であるとの見解が示されており、茅野市でも、その考え方に立ち、今後も丁寧な支援を行なっています。

3点目ですが、地域の居場所や支援団体の情報については、諏訪圏域子ども応援プラットフォームで、今年度エリアマップを作成していただきました。

全保護者に配布したほか、地区こども館や0123広場等にも掲示しました。

また、年4回程度、各校の担当者、適応指導教室、フレンドリールーム、サポートルームの担当者、事務局が集まり不登校対応検討会を開催しています。

会議を進める中で、必要に応じて、民間のフリースクール等の方にも来ていただきながら、情報共有等を行なっています。

民間の団体の情報を知りたいと保護者が希望する場合は、知り得る範囲で情報提供をしています。

4点目ですが、子ども食堂は、茅野市内でも4団体が活動していただいています。

市は、子どもの居場所づくりを推進する事業に対し、補助金交付要綱を定め、事業推進の応援をしています。

また、多くの民間団体が子ども食堂に対する補助を実施していますので、この情報についても子ども食堂運営者の方々にお伝えさせていただきました。

市の補助金は、他の公共団体から補助を受けている事業は補助対象外となっていることから、市の補助金のみならず、民間が行っている資源も充分活用していただきたいと思います。

最後ですが同じく木村かほり委員から、茅野市における自然保育の考え方についてということで2点、ご質問をいただいています。

1点目が茅野市の「やま保育認定」の考え方について、2点目が自然保育への取り組みの可能性についてです。

1点目ですが茅野市では、全ての子どもたちが「たくましく、優しい、夢のあるこども」に育つことを願い、絵本・運動遊び・食育・幼保小連携・一日保育士体験・豊かな自然の中で感性を育むこと・友達と遊ぶ中で人間関係の基礎を育むことを大切に、各園の立地条件を活かし、園毎の特色ある保育に取り組んでいます。

茅野市は、もともと自然豊かな市であり、豊かな自然の中で、豊かな感性を育む保育は、自然保育の理念と同様な考え方であると思います。

また、茅野市の公立保育園では、多様な保育活動をバランスよく行っていきたいという考え方の中で、各園の保育方針に基づいて保育活動を展開しています。

この４月に開園予定の「野あそび保育ささはら」は、野外保育に特化した認定こども園で、「特化型」「信州やまほいく」の認定申請を行っていくものと思われます。

現在の茅野市の公立保育園における保育は、「信州やまほいく」の「普及型」の認定を申請する基準を十分満たす活動を行っていますが、認定を受けることで保育士の負担が増え、保育に影響が出ることが考えられるとともに、今後は、「野あそび保育ささはら」との連携を図り、良いところを学び、茅野市の保育にフィードバックし、保育の質をさらに高めていくこともできると考えています。

また、自然保育のみでなく、様々な保育活動を行う園があることは、保育に多様性が生まれ、保護者にとっても選択の幅が広がると考えています。

これらのことから、「信州やまほいく」の認定は、現在のところ考えていません

ただし、「野あそび保育ささはら」との情報交換の中で、自然保育の可能性については、更に探っていきたいと考えます。

２点目ですが、市内の保育園では、身近にある自然との触れ合いにより豊かな感性が育まれることを踏まえ、園外保育活動のなかで、各園の方針に基づいた四季折々の自然環境を生かした遊びを大切にしています。

保育所保育指針の幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿のひとつには、「自然との関わり・生命尊重」があり、茅野市では、保育士等が指導を行う際の参考として、保育のねらい及び内容に基づき環境を設定して保育をしています。

「野あそび保育ささはら」は、保育所型認定こども園の認可を予定していることから、公立保育園と同じ「保育所保育指針」に基づいて、園の実情に応じて創意工夫を図り、保育の質の向上に努めていくことになります。

そのため、環境設定の仕方には違いはあっても、子どもの育ちの観点には共通したものがあります。

自然保育は、環境設定での内容や方向について示唆を与えてくれるものだと思います。

保育は子どものためにあり、他の目的のために保育が行われるわけではありません。

その原点に立ったうえで茅野市の保育の良さ、各私立園や「野あそび保育ささはら」の多様性についてPRしていくことで、様々な保護者の方々援して子どもを育てていくことを大切にしたいと考えます。と回答をさせていただきました。

教育長

それでは、一般質問についての回答になります。

質問ご意見ありましたらお願いします。

全委員

質問なし

教育長

ありがとうございました。

それでは続いて、議決の結果についてお願いします。

こども部長

「その他 2」をご覧ください。

3 月定例会の議決結果です。

教育委員会に関するものは補正予算及び新年度の一般会計予算になりますが、それを含めすべて承認、可決、同意をいただきました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

では続いて、その他 3「市長部局規則等の改正について」お願いします。

その他の 3-1 になる資料になります。

最初に市長の権限に属する事務、補助執行に関する規定の改正についてこども部長お願いします。

こども部長

お願いいたします。

資料ではその他 3-1 と 3-2 が、新旧対照表になっていると思いますが、この二つをご説明したいと思います。

背景につきましては先ほど議案の方でご説明した通りでございまして、こちらは市の方で行う訓令告示等になります。

本規程は市の組織改正に伴いまして、「茅野市事務専決及び代決規程等の一部を改正する訓令」の中で、市長の権限に属する事務の補助執行に関する規定の一部改正を行うものです。

改正部分の本文をご覧ください。

第 1 条は、市に関する部分ですので省略しています。

第 2 条で市長の権限に属する事務の補助執行に関する規定を改正します。

添付の新旧対照表になりますその他 3-2 をご覧いただきたいと思います。

第三条の規定でございますが、教育委員会の事務職員に市長の補助執行させる事項を定めた規定です。

改正後の第7号・第8号、こちらは今までも教育委員会の事務職員の補助執行を行っていた事項で他の部分も含めて解釈をしていたわけでございますが、対象事項をより明確化させるために、7号8号は新たに加えたものです。

改正前の第9号、こちらは市へ事務が移管となったものです。

それから改正後の11号及び14号は新たに市から移管された補助執行を行うものです。

以上が事務執行に関する過程の一部改正でございます。

1ページ目にお戻りください。

末尾に付則としてこの訓令は、令和3年4月1日から施行するものです。

その他3-1、3-2につきましては以上です。

教育長

それでは関連していますので、3-3へ続いていきたいと思います。

「茅野市組織規則等の一部を改正する規則」についてお願いします。

こども部長

お願いします。

その他3-3です。

こちら市組織改正の規則改正に伴いまして茅野市組織規則等の一部を改正する規則の中で、茅野市教育委員会に対する事務委任規則の一部改正を行うものです。

改正の本文をご覧ください。

第1条はやはり市に関係する部分でございますので省略しています。

第2条で、茅野市教育委員会に対する事務委任規則の改正をします。

添付の新旧対照表その他3-4をご覧ください。

第2条は、市長が教育委員会に委任する事項を定めた規定です。

このうち、やまびこ園の事業につきまして先ほどこども課長から説明した通り根拠となる「茅野市教育委員会母子通園訓練施設事業実施要綱」の名称を「茅野市教育委員会発達支援通園事業実施要綱」に改めることによりまして、改正するものです。

改正の本文にお戻りください。

末尾に附則としてこの規則は、令和3年4月1日から施行するものです。

以上です。

教育長

それでは続いて、ファミリーサポートセンターの関係をお願いします。

こども課長

それではその他 3-5 をお願いします。

備考欄の改正となりますが、援助活動時間を明確にする改正となっています。

0123 広場等の公共施設を使つての預かりケースというものが増えてきておりますので、活動時間の範囲を明確にするということで、援助会員が送迎も含めたものを活動時間とするということで改正をさせていただいています。

こちらは令和 3 年 4 月 1 日からの施行となります。

ファミリーサポートセンター事業実施要綱は以上となります。

教育長

それでは引き続きお願いします。

こども課長

その他 3-6、茅野市自立支援教育訓練給付金児事業実施要綱の一部改正となります。

こちらの事業ですけれども、雇用保険制度に基づいた教育訓練施設の指定を受けている学校で、対象講座を受講した料金に対する補助として、ひとり親家庭等の方々が対象となる事業です。

まず、2 条の支給対象者のところでありますが、第 2 条 2 項の児童扶養手当法施行令第 6 条の 7 の規定は適用しないものとするがありますが、こちらの内容は、所得の範囲の計算方法について、6 条の 7 が新設されました。

こちらは、児童手当法の改正により、令和 3 年 3 月 1 日から、児童扶養手当と障害基礎年金の併給調整に係る見直しがなされました。

児童扶養手当法施行令第 6 条の 7 は、所得の範囲及び計算方法のついて新設され、非課税所得である障害基礎年金の額を所得に加えることになったが、この給付金の支給にあたっては、対象者の所得水準をみるときに、この部分の適用はしないとするため、追加されたものとなります。

次に第 4 条の第 3 号が削除となっています。

こちらについてですが、令和 2 年の税制改正において、未婚のひとり親に対する税制上の措置がされたことに伴い、寡婦控除のみなし適用対象者の当該事実を明らかにすることができ書類が不要となったため、削除の改正になっています。

2 ページの経過措置の記載になりますが、経過措置として、平成 29 年から令和元年度までの各年の所得算定においては、従前の通りとなるための記載となっています。

続いて、その他 3-7、茅野市のひとり親家庭高等学校卒業認定試験合格支援事業実施要綱ということで、こちらもひとり親家庭等について、親の学び直しや、児童の学び直しを支援するための事業となっています。

こちらにつきましても第2条の支給対象者に、先ほどの自立支援の教育訓練と同じ部分を追加させていただいています。

また、第4条ですが、給付金を支払う率ですが、令和2年4月に国の要綱改正で、率の変更がございましたので、そちらを同様に改正させていただいています。

第5条の第4項につきましては、自立支援と同様に、税制改正による削除となります。

第6条等につきましても、同様の改正です。

4ページの経過措置についても、同様の改正となっています。

こちらにつきましても、令和3年4月1日からの施行となります。

続いてその他3-8茅野市高等職業訓練促進給付金と実施要項ですが、こちらの事業ですが、看護師、介護福祉士等の資格取得のため、1年以上養成機関で就業する場合に、その期間中の生活の負担軽減をするための、給付金となります。

こちら、第1条の目的のところですが、

母子家庭の母及び父子家庭の父と記載しておりますが、こちらの範囲が、明確でなかったということの中で、改正をさせていただきました。

根拠法令を追加し、お子さんは20歳未満の児童を扶養しているというところを明確にするために付け加えさせていただいたものとなります。

続いて第2条、支給対象者につきましては、母子家庭の母または父子家庭の父というのはどちらかということでありましたけれども、「及び」という言い回しの改正で、両方の家庭が対象者だということを明確にした改正となります。

第1項につきましては自立支援と同様の改正となります。

2項につきましては、第1項と同様の言い回しの改正となります。

第5条の第1項1号、2ページの下段、改正前の寡婦のみなしについては、寡婦等のみなし適用者の税制改正により削除をさせていただいたものとなります。

続いて、3ページの中段になりますが、(平成23年以前特例対象者にあつては～)という言い回しの部分ですが、平成23年以前の特例対象者がもうすでに現時点ではおりませんので、こちらの部分については削除としてさせていただいています。

第6条等につきましては第2条と同様の言い回しの改正となります。

第7条の4ページにつきましては、税制改正による削除ということで、改正となっています。

5ページですけれども、様式第2号中というところになりますが、みなし適用の削除となりましたので、こちらの表記が不要となりましたので、改正をさせていただいたものとなります。

経過措置も先ほどの、自立支援等と同様の改正です。

すべて4月1日の施行ということで、改正になっておりますのでお願いします。

教育長

ありがとうございました。

6 件の規則等の改正についてご説明いただきました。

ご質問ご意見ありますか。

全委員

質問なし

教育長

よろしいでしょうか。

それではご承認いただいたということで次に進みたいと思います。

その他になりますが、その他として委員さん何かございますか。

全委員

なし

教育長

事務局から次回の日程についてお願いします。

教育総務係長

次回 4 月の予定についてご連絡します。定例教育委員会を 4 月 27 日（火）午前 9 時 00 分から 704 会議室で行います。事務局会議については、4 月 13 日（火）午前 9 時 00 分から 602 会議室にて行います。よろしくお願いします。

教育長

ありがとうございました。

最後に文化財課長お願いします。

文化財課長

文化財課から 1 件お願いします。

資料等ありませんが、「尖石石器時代遺跡の追加指定について」昨年の 11 月 20 日に文化審議会から、文部科学大臣に対して、尖石遺跡の南側谷部と、考古館北側について追加指定するように答申がありました。

本日の官報に、追加指定の件が記載をされ、本日をもって正式に追加指定となりましたので、報告をさせていただきます。

教育長

ありがとうございます。

それでは以上で、３月定例会終了したいと思います。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

令和 3 年 4 月 27 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長